CS第1 演習ガイド

テーマ1の目標

計算の基本要素を知る

演習課題

四則演算でアニメーション





本日の内容

- 1. 演習の準備
- 2. Ruby のプログラムを走らせてみる
- 3. レポート課題1の説明
- 4. レポート課題1のプログラム作成

4. Ruby での書き方(その3)

条件分岐文 if 文



条件に応じて分岐する (計算の流れを変える)命令

【文の構造】

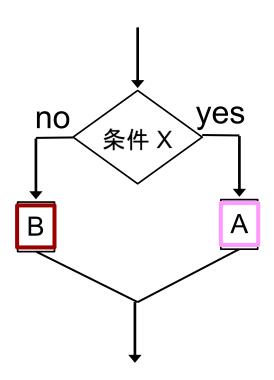
if 条件 X

命令列 A

else

命令列 B

end



abs.rb

```
# abs.rb x = \lambda力された数 if x \ge 0 puts(x) else puts(0-x) end
```

絶対値を求める計算

※ 究極的には if 文は不要(while 文で代用できる).

4. Ruby での書き方(その3)

条件分岐文 if 文



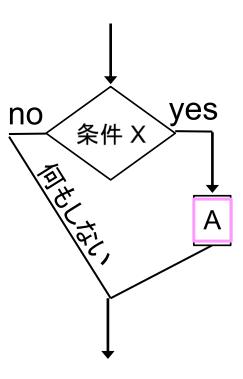
条件に応じて分岐する (計算の流れを変える)命令

【文の構造】(変形版)

if 条件 X

命令列 A

end



abs.rb

abs.rb
$$x = \lambda$$
力された数
if $x < 0$
 $x = -x$
end
puts(x)

絶対値を求める計算

条件分岐のプログラム例:最大値と最小値

• 2個の整数に対して、最大値と最小値を出力

プログラム

```
# maxmin.rb
x = 入力された数
y = 入力された数
if x \ge y
 max = x
 min = y
else
 min = x
 max = y
end
              #最大値を出力
puts(max)
puts(min)
               #最小値を出力
```

実行例

```
$ ruby maxmin.rb
5
$ ruby maxmin.rb
5
5
```

条件分岐のプログラム演習: 最大値と最小値

3個の整数に対して、最大値と最小値を出力

プログラム

```
# maxmin3.rb
x = 入力された数
y = 入力された数
z = 入力された数
...
puts(max) # 最大値を出力
puts(min) # 最小値を出力
```

実行例

```
$ ruby maxmin3.rb
5
$ ruby maxmin3.rb
3
```

CS第1 演習ガイド

1. 準備

- 1. ログインする.
- 2. 講義のウェブページから プログラム をダウンロードする.
 - Downloads(ダウンロード)フォルダに day2.zip 置かれる
- 3. Terminal を動かす(TSUBAME と直接対話する窓口).
 - 2.1. cd Downloads Downloadsと言うフォルダに入る.
 - 2.2 cd day2 day2と言うフォルダに入る...

2. プログラムを走らせてみる

Ruby で書かれたプログラムを実行する:

- ※以下の説明では、Terminal が開いていて、day2 にいると想定しています.
- 1. ls その部屋にあるファイルを表示させる.
- 2. そこにあるプログラムをいくつか実行してみる.

Ruby で書かれたプログラムを実行するには命令 ruby を使う.

(1) ruby mult.rb たとえば mult.rb を実行してみる.

200 乗算したい2数を入力

1200

- (2) cat mult2.rb mult2.rb はどんなプログラムか見る.
- (3) ruby mult.rb mult2.rb を同様に実行してみる.

まとめ: Terminal command

命令	使用例	意味
mkdir	mkdir day2	day2 というフォルダ(部屋)を作る
cd	cd day2	day2 というお部屋に入る
	cd	上の(大きな)部屋に戻る
	cd/	上の上の部屋に戻る
ls	ls	その部屋にあるファイルを表示する
cat	cat foo.rb	foo.rb の中身を表示する
rm	rm foo.rb	foo.rb を消す(戻らないので注意)